



山形県感染症発生動向調査

平成30年第49週(12月3日～12月9日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2018年12月12日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第48週	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	第48週	第49週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)	(47)																
インフルエンザ	4599 0.93	4 0.08	33 0.70	▲	1 0.05	6 0.30	▲	2 0.40	11 2.75	▲	1 0.10	16 1.60	△				16323
小児科定点 (定点医療機関数)	(30)																
RSウイルス感染症	1578 0.50	52 1.73	43 1.43	▽	26 2.00	10 0.77	▽		1 0.33	△	24 4.00	29 4.83	△	2 0.25	3 0.38	▲	1661
咽頭結膜熱	2068 0.66	37 1.23	35 1.17	▽	11 0.85	14 1.08	▲	6 2.00	9 ◎3.00	▲	5 0.83	4 0.67	▼	15 1.88	8 1.00	▽	907
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8738 2.77	101 3.37	106 3.53	△	43 3.31	61 4.69	△	9 3.00	8 2.67	▽	35 5.83	24 4.00	▽	14 1.75	13 1.63	▽	4511
感染性胃腸炎	24907 7.89	245 8.17	271 9.03	▲	80 6.15	125 9.62	▲	10 3.33	12 4.00	▲	56 9.33	59 9.83	▲	99 12.38	75 9.38	▽	7220
水痘	1922 0.61	22 0.73	23 0.77	△	13 ○1.00	10 0.77	▽	1 0.33		▽	3 0.50	9 ○1.50	△	5 0.63	4 0.50	▽	653
手足口病	1987 0.63	14 0.47	24 0.80	▲	6 0.46	12 0.92	▲	2 0.67		▽				6 0.75	12 1.50	▲	1349
伝染性紅斑	2747 0.87	21 0.70	28 0.93	▲	5 0.38	12 0.92	△	11 ◎3.67	7 ◎2.33	▽	4 0.67	5 0.83	▲	1 0.13	4 0.50	△	532
突発性発しん	1388 0.44	19 0.63	22 0.73	▲	4 0.31	7 0.54	△	4 1.33	2 0.67	▽	6 1.00	4 0.67	▽	5 0.63	9 1.13	△	837
ヘルパンギーナ	357 0.11	3 0.10	3 0.10		1 0.08	1 0.08					2 0.33	1 0.17	▽		1 0.13	△	2850
流行性耳下腺炎	423 0.13	2 0.07		▼							1 0.17		▽	1 0.13		▽	138
眼科定点 (定点医療機関数)	(8)																
急性出血性結膜炎	9 0.01																1
流行性角結膜炎	645 0.93	8 1.00	12 1.50	▲	5 1.25	12 3.00	▲							3 1.50		▽	122
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)																
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	20 0.04		1 0.10	△		1 0.25	△										21
クラミジア肺炎	3 0.01																
マイコプラズマ肺炎	209 0.44	6 0.60	4 0.40	▽	6 1.50	4 1.00	▽										149
細菌性髄膜炎	15 0.03																10
無菌性髄膜炎	16 0.03		1 0.10	△											1 0.33	△	7

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
レジオネラ症	患者	1				
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1				肺炎球菌ワクチン接種歴:不明。大人1人。
百日咳	患者	5				百日咳ワクチン接種歴:4回1人、無し1人、不明3人。乳児1人、小児4人。
風しん	患者	1				風しんワクチン接種歴:不明。

<通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型32件、B型1件です。集団発生の報告は、ありません。
 ※トピックスで百日咳と風しんについて掲載しています。

【速報】・第50週に、村山地区で風しんの報告が2人ありました。(12月10日 プレスリリース)

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ			1	2	1	1	2		4		1	5	5	1	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	2	2		5	1										33
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	4	12	15	2	3	5	1		1						43
咽頭結膜熱	1	2	10	7	3	1	6	4				1			35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	3	8	15	13	9	16	12	4	21		1	106
感染性胃腸炎	1	16	37	28	30	38	27	28	10	13	11	20	9	3	271
水痘		1	3	2			2	3	6	2	1	3			23
手足口病			10	9		2	1					1		1	24
伝染性紅斑			1	2	3	3	3	5	4	2	1	4			28
突発性発しん	1	8	12				1								22
ヘルパンギーナ					2		1								3
流行性耳下腺炎															

<平成30年10月 月報>

2018年11月21日 発行

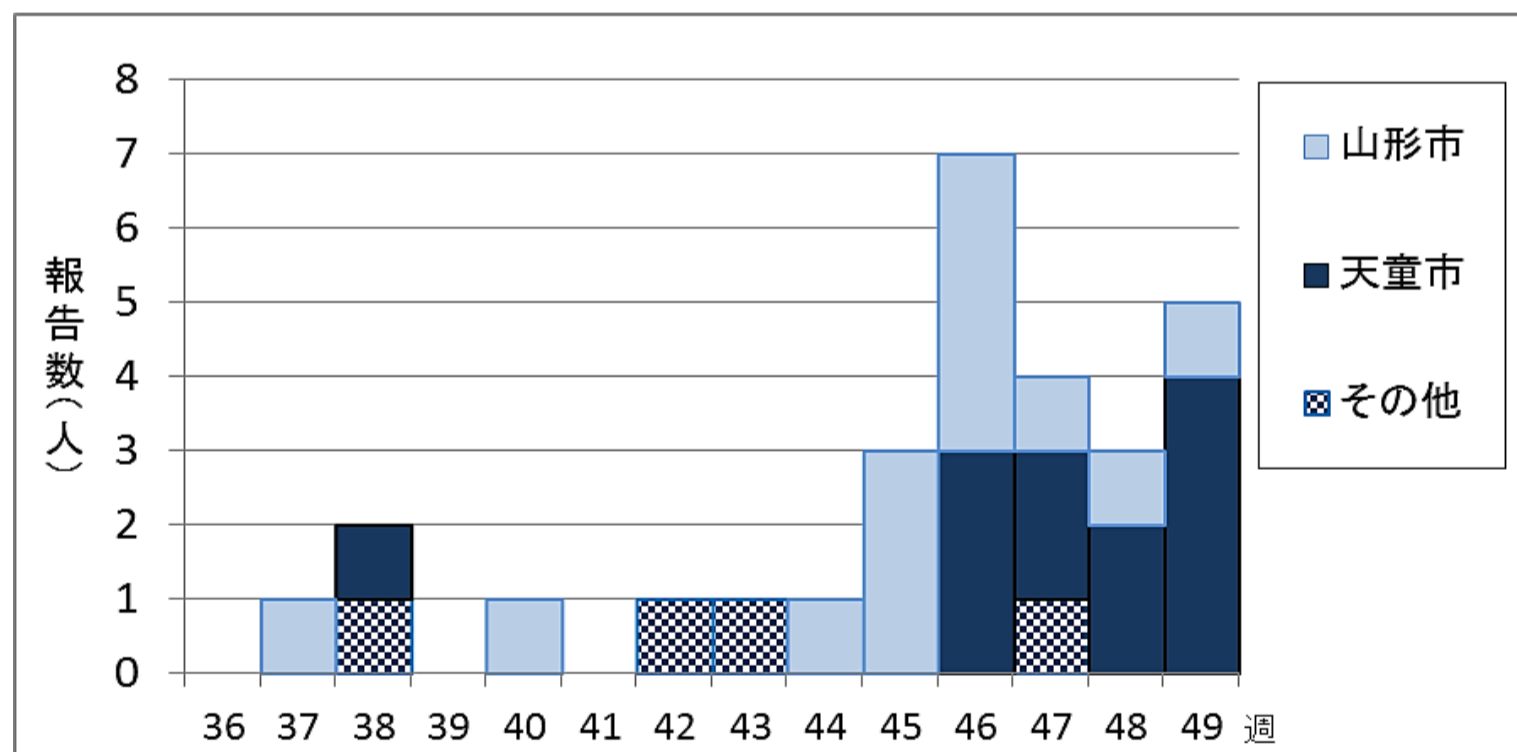
疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	17	11	11	6		1	2	2	4	2	177
	定点当り	1.70	1.10	2.75	1.50		1.00	1.00	1.00	1.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	12		1	1	2	3	6	1	3	78
	定点当り	0.50	1.20		0.25	1.00	2.00	1.50	3.00	0.33	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	2	1	2			1					30
	定点当り	0.20	0.10	0.50			1.00					
淋菌感染症	報告数	6	4	3	2					3	2	36
	定点当り	0.60	0.40	0.75	0.50					1.00	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	6					1		5	5	70
	定点当り	0.50	0.60					0.50		1.67	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	21	31	7	16	1	1		1	13	13	201
	定点当り	2.10	3.10	1.75	4.00	1.00	1.00		0.50	4.33	4.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数		1		1							1
	定点当り		0.10		0.25							

<トピックス>

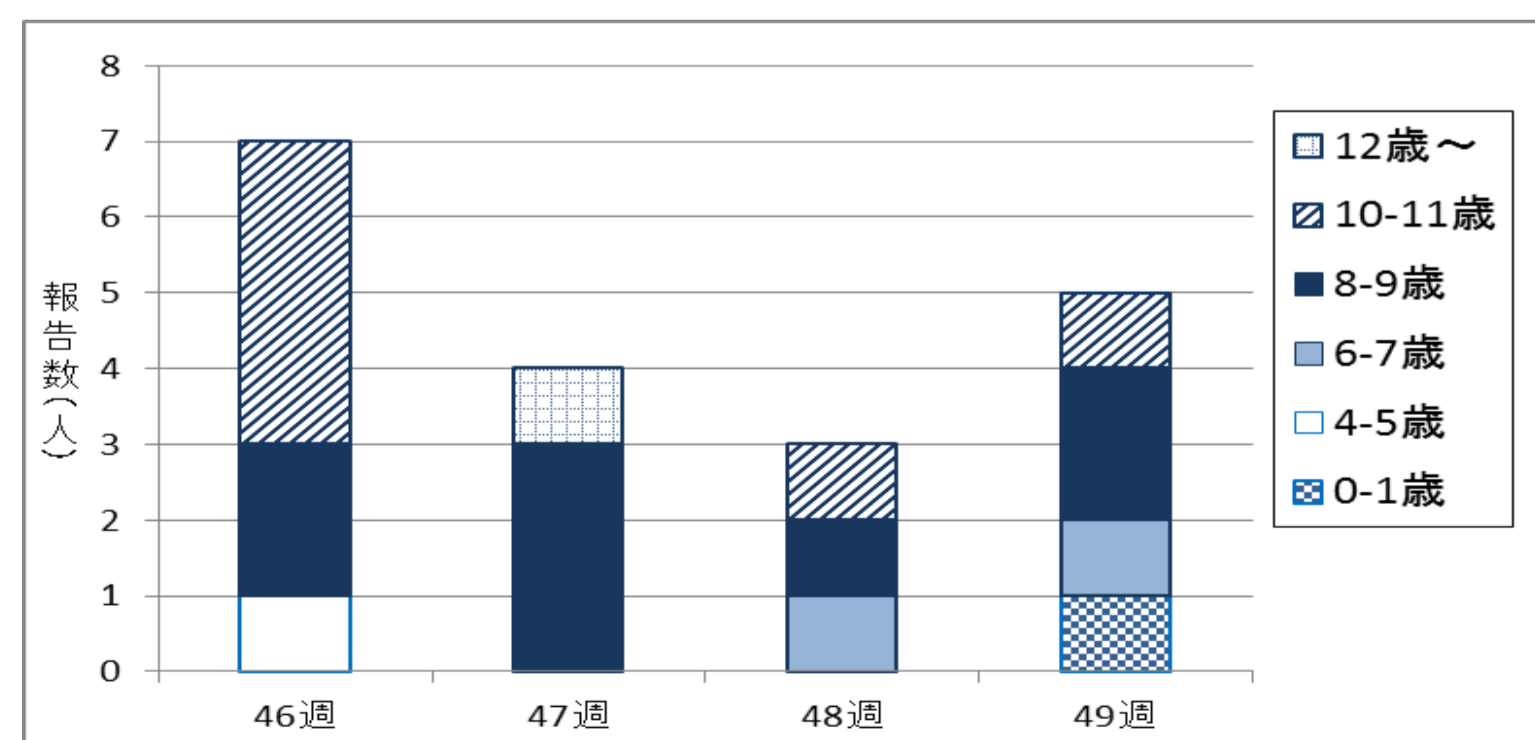
百日咳情報

第49週に、百日咳の患者が5人報告されました。その内、1人が生後3カ月以内の乳児でした。第46週以降、天童市の医療機関からの報告が増加しています。

<医療機関の所在地別報告数(山形県 第36～49週)>



<年齢別報告数(山形県 第46～49週)>



長引く咳には要注意！
早めに医療機関を受診しましょう。
赤ちゃんのいる家庭の方は特に注意しましょう



風しん情報

第49週に、風しんの患者が1人報告されました。また、12月10日にプレスリリースがありました通り、第50週にもすでに2人報告されています。

<2018年に山形県で報告された風しん患者の内訳(12月12日現在)>

- ①性別 : 男性 11人、女性 0人
- ②地区別 : 村山地区 9人、置賜地区 1人、庄内地区 1人
- ③年齢 :

年齢(歳)	16-20	26-30	31-35	36-40	41-45
報告数(人)	1	2	2	4	2

- ④ワクチン歴 : 無し 2人、不明 9人

<風しんとは>

風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症です。感染から2～3週間後に発疹、発熱、リンパ節の腫れ(耳の後ろ、後頭部、首)などの症状が現れますが、15～30%の方は症状が何も現れません。基本的には予後良好ですが、風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週ごろまでの女性が感染すると眼や心臓、耳等に障害をもつ(先天性風しん症候群)子どもが出生することがあります。妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、抗体を持たない又は抗体価の低い妊婦は、できるだけ風しんの流行地へ行かないようにし、やむを得ず行く場合はなるべく人ごみを避けるようにしましょう。

風しんの予防法としてはワクチン接種を受けることが大切です。特に、妊娠を希望する女性や、風しん抗体を持っていない妊婦家族のうち、予防接種を受けておらず、風しんにかかったことのない方は予防接種を受けましょう。

山形県では、多くの市町村で風しんの抗体検査、予防接種に係る費用の助成を行っています。
詳しくは、お住まいの市町村の予防接種担当課にお問い合わせください。

